

ルカ伝の祈り (2)

「祈りが聴かれた」

(竿代 照夫 牧師)

【聖書のみことば】 ルカの福音書 1章 5-17 節

- 5 ユダヤの王ヘロデの時に、アビヤの組の者でザカリヤという祭司がいた。彼の妻はアロンの子孫で、名をエリサベツといった。
- 6 ふたりとも、神の御前に正しく、主のすべての戒めと定めを落度なく踏み行っていた。
- 7 エリサベツは不妊の女だったので、彼らには子がなく、ふたりとももう年をとっていた。
- 8 さて、ザカリヤは、自分の組が当番で、神の御前に祭司の務めをしていたが、
- 9 祭司職の習慣によって、くじを引いたところ、主の神殿に入って香をたくことになった。
- 10 彼が香をたく間、大ぜいの民はみな、外で祈っていた。
- 11 ところが、主の使いが彼に現れて、香壇の右に立った。
- 12 これを見たザカリヤは不安を覚え、恐怖に襲われたが、
- 13 御使いは彼に言った。「こわがることはない。ザカリヤ。あなたの願いが聞かれたのです。あなたの妻エリサベツは男の子を産みます。名をヨハネとつけなさい。
- 14 その子はあなたにとって喜びとなり楽しみとなり、多くの人もその誕生を喜びます。
- 15 彼は主の御前にすぐれた者となるからです。彼は、ぶどう酒も強い酒も飲まず、まだ母の胎内にあるときから聖霊に満たされ、
- 16 そしてイスラエルの多くの子らを、彼らの神である主に立ち返らせます。
- 17 彼こそ、エリヤの霊と力で主の前ぶれをし、父たちの心を子どもたちに向けさせ、逆らう者を義人の心に立ち戻らせ、こうして、整えられた民を主のために用意するのです。」